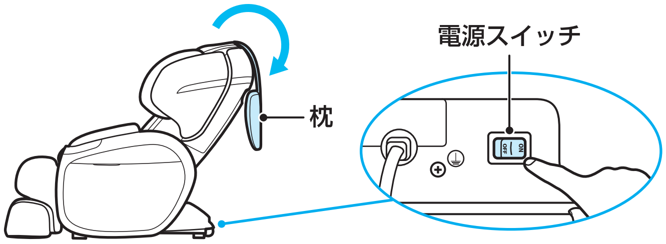
JTR-180 カンタン操作ガイド

1 本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にする。

2 枕を後に回して、座る。



3 背部と脚部をお好みの位置に合わせる。

背部：背もたれ部が起き上がる。
背もたれ部が倒れ、脚部が上がる。

脚部：脚部が上がる。 脚部が下がる。

4 自動コース を押し、お好みのコースを選択する。

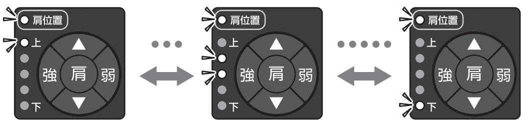
※選択した自動コースのランプが点灯します。

マッサージコースの種類

全身疲労回復	全身のこりや疲れをやわらげるコース
全身集中	部位ごとにじっくりと全身のマッサージを行うコース
肩疲労回復	肩・背部のこりや疲れをやわらげるコース
腰疲労回復	腰部のこりや疲れをやわらげるコース
ストレッチ	ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

5 自動コースを選択すると脚部が上がり、もみ玉が肩位置を自動的に検知する。

検知した肩位置は、▲ ▼ を押して変更できる。



肩位置「1」表示 肩位置「4」表示 肩位置「9」表示

マッサージコース動作中の調節

背の強さを調節したいとき

背 で背強さを２段階から選択。

腰の強さを調節したいとき

腰 で腰強さを５段階から選択。

エアー強さを調節したいとき

エアー でエアー強さを２段階から選択。

● エアー強さは部位ごとに調節できません。

強さのランプ

	強さ	弱 1	2	3	4	強 5
ランプの点灯	５段階（腰）	● ● ○	● ○ ○	● ○ ●	○ ○ ●	○ ● ●
	２段階（背・エアー）	● ○	−	−	−	○ ●

○…点灯　●…消灯

肩の強さを調節したいとき

強 弱 で肩強さを５段階から選択。

マッサージは約15分で終了します。

マッサージを途中で終了する場合、
終了 を押してください。

● もみ玉が収納位置まで移動し、終了します。

ただちにマッサージを停止する場合、
急停止 を押してください。

● もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。

ヒーターを「入 / 切」したいとき

背ヒーター で動作を選択。

● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

● 背もたれ部マッサージと同時に使用しない場合、90 秒でヒーターが終了します。詳細は取扱説明書をご参照ください。

肩・腕・座エアーを「入・切」したいとき

肩エアー 腕エアー 座エアー で動作を選択。

● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚部マッサージをしたいとき

足先もみ ふくらはぎ で動作を選択。

● ボタンを押すごとに「自動」→「遅」→「速」→「切」と切り替わります。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

（1）使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
　　破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
（2）絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
（3）アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
（4）使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
（5）マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
（6）頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
（7）腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
（8）手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
（9）次の人は使用しない。
　　医師からマッサージを禁じられている人
　　(例：血栓 [そく (塞) 栓] 症、重度の動脈りゅう (瘤)、急性静脈りゅう (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)
（10）医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。
　　（詳しくは取扱説明書を参照）
（11）お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
（12）お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
（13）リクライニングするときは、必ず周囲（本体の後部、前部、側部、下部など）に人やペット、物がないことを確認する。
（14）ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
（15）使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。